

あそびの渦

あそんで！わらって！まぜって！
うずまく！

ウインドサーフィン
のように
ボードですべろう！

なが～いすべり台！14.2m！

返子ならでは！

ローラーすべり台

すべり台

ロープのぼり

なみのベンチ

ざぶ～ん！
海のように
だれもがあそべる

ひゅう！
暑とともに
チャレンジしよう

わさわさ！
緑といっしょ
地域とつなぐ未来

あんしん！見守り！

もしもし！聞こえますか？

ひんやり！

日よけシェード

伝声管

大型タワー

インクルーシブ遊具

夏のひざし
へっちゃん！

幼稚園に旗をたてよう！

WSでオリジナルの
旗をつくるよ！

うみかぜ おか
海風のとどく丘

海もみどりも豊かな返子のまちのように、どんな気持ちも、どんな個性も大切にできるあそび場をめざします。思いやりチャレンジしたい日も、のんびり過ごしたい日も、海風を感じながら、みんなで集まって笑顔になろう！子どもも大人も、「また来たい！」と思える場所をつくれます。

私たちが住む町。自然も笑顔も集まる場所。

テーマ

海風のとどく丘

— 逗子の自然に包まれる笑顔のあそび場 —

逗子の穏やかな海と豊かな緑に包まれたこの場所は、海風が心地よく吹き抜ける、みんなのためのあそび場です。風に誘われるように集まり、思い思いの時間を過ごしながらか笑顔が交わる。空を見上げ、風を感じ、少しだけ勇気を出して挑戦してみる。あそぶ人も、見守る人も、それぞれが心地よく過ごしながら、安心と笑顔を共有できる空間です。たくさんのお会いと発見を運ぶ風の中で、最高のスマイルが生まれるあそび場を目指します。

「海風のとどく丘」を支える3つのコンセプト



海の心地よさ“ざぶ～ん”

それは海のように、だれもが遊べる場所

■ あそび場の包摂性

障がいや年齢の壁を大きく包み込み、インクルーシブ遊具や乳幼児のすべり台デビューを同空間に実現。体をめいっぱい動かすこともできる、誰もがじぶんのペースで安心と笑顔を共有できる広場を創出します。

■ 実績と研究に基づく実施体制

グッドデザイン大賞受賞の実績と、専門医による医療・開発研究の監修ストーリーを融合。確かなエビデンスに基づく設計・施工体制で、安全・安心を担保します。



風の心地よさ“ひゅう！”

風と共に、新しい自分に会いに行こう！

■ 冒険心の育成

長さ14.2mのローラーすべり台をすべり降りたり、高さ8.7mあるタワー遊具にのぼってみたい。多様な遊び機能で体を動かしながら、子どもたちが「少しだけ勇気を出して挑戦してみる」吹き抜ける風が背中を押し、弾ける笑顔を育みます。

■ 先回りした安全性

あそび場の周囲に配置された見守りベンチと、もしもの危険から子どもたちを守るゴムチップ。想定外の遊び方や猛暑にも配慮し、見守る大人にも「安らぎの安心」を先回りして届けます。



緑の心地よさ“わさわさ”

地域の緑と共に続く、つなぐ、未来

■ 地形と長寿命化

地盤部の徹底防食など高耐久設計により、将来の維持管理費用を圧倒的に低く抑えます。特に崩れていた部分の斜面にはゴムチップを施し、遊ぶこともできる仕様にしました。既存の大人気な滑り台はクッションコートをすることによってこれからも安全に遊べるようにします。

■ 地域を結ぶソフト支援

だれでも参加できる「旗づくりワークショップ」を開催。このあそび場を自分のものだと思ってもらえるようみんなの想いが詰まった旗をシンボルに掲げ、出会いと発見が「わさわさ」と集まる場を作ります。



「さわやかな風」がうずまく アクティブゾーン

子どもたちの「やってみよう！」という挑戦の背中を押す「爽快な海風」

遊び場のシンボルである「中央の塔（大）」を中心に、現況のなだらかな傾斜を活かした「ロングローラー滑り台」と「幅広滑り台」の3つを連動させた、最もアクティブなエリアです。

「ひゅう！」と爽快な風を切って滑り降りる楽しさは、子どもたちの冒険心を刺激し、何度も挑戦する背中を優しく後押しします。また、中央の塔の高さのあるあそびへ挑戦することで友達同士の絆が生まれ、到達したときの達成感へとつながります。子どもたちの「できた！」が周りの友達にも勇気を与える「動」のあそび場計画です。

「おだやかな波」がひろがる インクルーシブゾーン

厳しい日差しを和らげ、誰もが安心して過ごせる「おだやかな波」

大きな「日よけシェード」に守られた砂場や感覚遊びにより、乳幼児でも安心して過ごせるエリアです。車椅子のまま遊べる伝声管やインクルーシブ遊具に加え、「小さな塔」と「小さな滑り台」を配置し、小さなお子様でも自分のペースで安心して滑り台にチャレンジできます。

障がいの有無や年齢・個性に関わらず、すべての段階の子どもたちが等しく主役になれる「静」の動線です。ここに集う誰もが心を開き、お互いを認め合いながら、優しく穏やかなスマイル（笑顔）が自然と広がっていきます。

「逗子の自然」がつつみこむ セーフティゾーン

心の緊張をほだき、家族を優しく結ぶ「私たちの自然」

エリア全体を優しく囲む「波のカタチのベンチ」を中心とした、安全面と見守りにこだわった休憩エリアです。年齢や特性の異なる子どもたちを「柵や壁」で分断するのではなく、遊具の配置と動線による「緩やかなゾーニング」で区切ることで、誰もが同じ空間を共有しながら遊ぶことができます。

さらに、どの角度から子どもたちの様子を見渡せる視認性を確保しています。保護者はベンチに座って心地よく一息つきながら、アクティブに遊ぶ姿も砂場に夢中な姿も見守ることができます。そこにあるすべての視線と心が、安らぎのスマイル（笑顔）で満たされる居場所になります。

だれもが安心して遊び、笑顔が続くあそび場へ。

遊具の構成 —だれもが主役になれるインクルーシブなあそび場



■ 景観と調和する遊具計画

逗子の穏やかで美しい海を連想させる「波のカタチのベンチ」をエリア全体へ有機的に配置し、周辺の豊かな緑の景観と美しく調和した空間を創出します。ただ遊具を置くだけではなく、地域の自然を五感で体感できる魅力的なあそび場を目指します。

■ 包摂性と乳幼児への配慮

GOODDESIGN賞の大賞も受賞した遊具を静の遊び場の回遊の中心に設置することで、インクルーシブな空間を生みだします。乳児のハイハイスペースとしても使うことができるここを起点に、さらに隣接して「小さな塔」と「小さな滑り台」を配置することで、大きな遊具がまだ怖い乳幼児でも、自分のペースで安心して滑り台デビューができる年齢別ステップを計画します。

■ 多様な遊びと冒険心の育成

遊び場のシンボルである「中央の塔」を中心に、「ロングローラー滑り台」と「幅広滑り台」を連動させた遊具構成を計画します。

「のぼる・すべる・くぐる」といった多様な遊びの形態を網羅し、子どもたちの想像力や冒険心を育むとともに、すべての段階の子どもが等しく主役になれる遊具構成を提案します。



誰もが一緒にあそべる遊具開発「RESILIENCE PLAYGROUNDプロジェクト」

GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞
グッドデザイン大賞
(内閣総理大臣賞)

多様な個性をもった子どもたちと一緒に、誰もがあそべる遊具を目指してさまざまな検証を行いました。分断を生まず、子どもたちをつなぐ媒介となり、障がい等によりあそびのコミュニティから遠い子どもたちをあそび場に取り戻してくれるような遊具をつくりました。



こちらから動画をご覧ください

地域特性を活かしたインクルーシブなあそび場づくりの実績

都心の大規模公園から商業施設まで、多様な環境でインクルーシブな遊びの場を創出してきました。



◀都立明治公園（都内初導入）

都心の大規模公園に「RESILIENCE PLAYGROUND」を導入。人工芝と組み合わせることで、誰もがあそびやすく見守りやすい次世代のインクルーシブ広場を実現しています。

▶福井中央公園「しろっぱ」（大型遊具）

気候課題に対応した大屋根や配慮された遊具を設置し、誰もが自然と集まれる居場所を創出。買い物や通院の合間に誰もが安心して過ごせる場となり、地域のにぎわいに貢献しています。



その他 —地域とつながる独自提案・確かな実施体制



■ 旗づくりワークショップ

不登校のお子様をはじめ、自分の居場所として認識してもらうために名称をみんなで決める「旗づくりワークショップ」を開催します。みんなの想いが詰まった旗をシンボルとして掲げることで、あそび場への愛着を育み、出会いと発見が「わさわさ」と集まる場を創出します。

■ 逗子の地域性を表すようなデザイン

逗子の魅力的な自然を遊具や遊び場全体のデザインとして入れ込むだけでなく、逗子で有名なウインドサーフィンのサーフボードのようなビート版でローラーすべり台を滑り降りることができます。

■ 実績と研究に基づく実施体制

グッドデザイン大賞受賞のプロダクト実績と、専門医による医療・開発研究の監修ストーリーを融合し、確かなエビデンスに基づく設計・施工体制で安心を担保します。



安全対策 —子どもたちの挑戦を支える包括的セーフティ



■ 猛暑対策

近年の厳しい気候変動による熱中症リスクを先回りし、遊具への遮熱対策や砂場上部への大型日よけシェード設置を行います。子どもたちだけでなく、見守る保護者にとっても快適なあそび場を実現します。

■ 工事中の安全対策

施工時においても利用者や近隣住民の安全を最優先に確保するため、仮囲い、工事看板、車両誘導を徹底します。大型資材搬入時には必要に応じて誘導員を配置し、安全管理体制を構築します。

■ 既存遊具への安全対策とさらなる遊びの拡張

人気の高かった既存の滑り台には安全対策を施すことで、安心して遊ぶことができます。また、斜面が大きく崩れてしまっていた場所にゴムチップ舗装を施すことで斜面の保護するだけでなく、新たな遊びへと生まれ変わります。



■ 厳格な基準遵守と独自の安全規準「JQ遊具安全規準」の適用

遊具の基準は「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版2版）」（国土交通省）に基づき「遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S：2024）」（一般社団法人日本公園施設業協会）と同等の基準を満たすものとします。公的基準を前提としたうえで、私たちはさらに一歩踏み込んだ安全設計を実現するため、独自の「JQ遊具安全規準」を適用します。この規準は、遊具メーカーとして蓄積してきたノウハウと全国のお客様から寄せられるヒヤリハット報告（事故につながりかねない事例）を分析・反映して策定されたものです。

▶独自のエビデンス —モデル園運営と身体モジュールの活用—

私たちは、4つのこども園を「モデル園」として直営で運営しています。日々の遊びの中で蓄積される子どもの身体寸法や行動パターンに関するデータを継続的に調査した【独自のエビデンス】に基づき、遊具の安全性と機能性を徹底的に高めています。



キッズデザイン賞
優秀賞 受賞



▲身体の通り抜け検証

維持管理 —長寿命化設計とライフサイクルコストの低減



■ 地形を活かした環境配慮

遊び場のシンボルである「中央の塔」と「ロングローラー滑り台」は、敷地が持つなだらかな傾斜をダイナミックに活かして計画します。現況の高低差をそのまま遊びのエネルギーに変えることで、発生残土を必要最小限に抑え、環境負荷の低減と造成費用の抑制を両立します。

■ 保守点検【弊社社員による適格な定期点検】

保守点検業務では、弊社「遊具安全規準」のマニュアルに沿って「遊具検査技士」及び「遊具検査士」の有資格者が、適格な定期点検を行います。

検査後、遊具定期検査成績表を提出し、必要に応じて修理・部品交換を行います。

○保障期間後の遊具の保守点検業務は、計画に基づいて実施します。

○保障期間の終了後、3年目より点検をおすすめします。

■ 長寿命化を実現する高耐久性素材の選定と品質保証

遊具は、耐久性に優れ、腐食や劣化に強い素材を選定しています。長期間にわたり安全性を維持するとともに、部品交換の頻度を低減することで、維持管理にかかるランニングコストの削減に貢献します。

主要な材料には、すべてJIS規格品または同等以上の品質を有するものを使用し、強度と信頼性を確保しています。耐久性の高い素材を採用することで、遊具の設計耐用年数を通じて、高い安全性を維持します。

■ 国内の自社工場による一貫体制と補修の容易性

遊具は、最小限の部品で構成されるシンプルなボルト・ナット構造を採用しています。万が一、部品交換や修繕が必要となった場合でも、複雑で大掛かりな分解や解体作業は不要です。手工具のみで部品を容易に交換することができ、部品1本からでも交換対応が可能なため、メンテナンスコストと時間を大幅に削減します。また、全てのパーツは国内の自社工場にて、厳格な品質管理のもとで製作されます。部品を一元的に在庫管理しているため、修繕が必要となった際にも、速やかに部材を供給できる体制が整っています。

■ 製品保証と賠償責任保険

▶保証【製品納入後：2年間保証】 ※保証規定は製品契約締結時に別途定めます

▶保険加入【対人・対物賠償：最大総額5億円】

